

# 研究所

## 概要

研究所は、がんの征圧・制御という最終目標に向けて、個人にとってより効果的で優しい新たながんの予防・診断・治療法の開発及びそれに資する基礎及び橋渡し研究(TR)を推進することを使命として、センター内の各部局との連携を密に図り、様々な視点に基づいた研究を精力的に進めています。5グループ・25分野・3支援施設で構成され、約100名の研究員に加え、約40名のポストドクと100名を超える研究補助員からなります。国際的なリーダーシップを目指す当センターの国際戦略の一貫として、国際的な研究の連携にも積極的に取り組み、その存在感を一層高めて行くことを目指しています。



## トピックス

### ■発がん機構研究グループ

画期的ながんの予防・診断・治療を開発するため、がんが出来る仕組みを研究しています。がんの原因となる遺伝子、発がん物質、発がんウイルス、家族にがんが多い仕組みなどを見つけ、応用しています。

### ■分子標的研究グループ

がんの新しい治療法を開発するために、薬の攻撃目標やデリバリーの方法を研究しています。白血病の画期的な治療標的、遺伝子導入の新しい技術を見つけ、開発しています。細胞死、シグナル伝達の研究もしています。

### ■分子診断・個別化医療開発グループ

がんの個性・患者さんの体質に最適な治療を実現するために、これらを正確に評価する研究をしています。ゲノム、エピゲノム、プロテオームの研究技術を駆使し、各種のがんのバイオマーカーを発見・開発しています。

### ■治療開発グループ

「がんを治す」ため、分子標的薬や遺伝子治療の実用化を進めています。「がんと生きる」ため、生活品質を改善する創薬開発も行っています。がん幹細胞に着目するなど、新しい視点で研究をしています。

### ■バイオバンク・コアファシリティ

センターの、そして、日本のがん研究を支えるために、患者さんの善意による臨床試料と臨床情報を集めたバイオバンクを構築しています。熟練した技術者を擁するコアファシリティもセンター全体を支えます。

